【人 工 林】

緊急度の判定基準（132,000ha→20,000ha：基本計画策定調査に適用）

◇１林分（施業番号単位）毎に、下記の判定基準により総合的な緊急度をＡ・Ｂ・Ｃの三段階に区分し、「A」ランクの林分から優先的に選定する。

判定に用いる指標のランク基準

指　標	項　目	基　　準	a	b	c
森林の現況による指標	① 成立密度	現況÷収穫予想表の割合 **＜立木が過密で径が細く、風雪害等の被害が懸念されるかどうかを判断＞**	１２５％ 以上	１１１％以上 １２４％以下	１１０％ 以下
地理的状況による指標	② 傾 斜 角	平均傾斜角 **＜地形が急峻で、土砂流出の危険や倒木の流出被害が懸念されるかどうかを判断＞**	３１度 以上	１６度以上 ３０度以下	１５度 以下
	③ 緊急度合	ア．保全対象（２㎞以内の施設） ・人家・道路・鉄道・林道・河川 ・上水道等の水源・貯水ダム ・ため池・用排水施設 **＜災害が発生した場合に人命に危険が及ぶか又はライフラインに損害を与えるかどうかを判断＞**	該当要件 ３つ以上	２つ	１つ以下
森林の機能による指標		イ．森林計画上の位置付け ・水かん機能高　・山災防止機能高 **＜安全･安心な県民生活に密着した機能を有しているかどうかを判断＞**	どちらか １つ	隣接地に該当 あり	該当なし
		ウ．近隣森林との関係 ・水かん保安林に隣接 ・土砂流出防備保安林に隣接 **＜安全･安心な県民生活に密着した機能を有しているかどうかを判断＞**	隣接地に あり		なし
判　定		a・b・cの数	ａ３つ 以上　A	ａ２つ B	左欄以外 C

《参考》森林現況調査表

市町村	林小班	施業番号	樹種	面積	林齢	地位	本数（本／ha）			傾斜②	緊急度合③			判定
							現　況	収穫予想表	割合①		ア	イ	ウ	
	123-い	001-01	ｽｷﾞ	0.50	40	4	2,500	1,880	a 133%	a	a	a	a	A

【天 然 林】

緊急度の判定基準（132,000ha→20,000ha：基本計画策定調査に適用）

◇１林分（施業番号単位）毎に、下記の判定基準により総合的な緊急度をＡ・Ｂ・Ｃの三段階に区分し、「A」ランクの林分から優先的に選定する。

判定に用いる指標のランク基準

指　標	項　目	基準	a	b	c
地理的状況による指標	① 傾 斜 角	平均傾斜角 **＜地形が急峻で、土砂流出の危険や倒木の流出被害が懸念されるかどうかを判断＞**	１６度 以上	６度以上 １５度以下	５度以下
	② 緊急度合	ア．保全対象（0.5㎞以内の施設） ・人家・道路・鉄道・林道・河川 ・上水道等の水源・貯水ダム ・ため池・用排水施設 **＜災害発生時または被害拡大時に人命に危険が及ぶか又はライフラインに損害を与えるかどうかを判断＞**	あ　り	あるがやや遠い (２㎞以内)	な　し
森林の現況による指標		イ．森林の被害状況 ・病虫害　　・気象害 **＜安全･安心な県民生活や自然環境に影響が大きいかどうかを判断＞**	両　方 もしくは 病虫害被害	気象害のみ	なし
		ウ．林　況 ・上層木が疎林で被害を受けている ・主林木が過密状態にある ・亜高木性樹種が少ない ・下層植生が常緑樹やササ類 ・ツル性植物が繁茂し、歩行困難 **＜安全･安心な県民生活や自然環境に影響が大きいかどうかを判断＞**	２つ以上 該　当	１つ該当	該当なし
判　定		ａ・ｂ・ｃの数	ａ４つ以上 A	ａ３つ以上 B	左欄以外 C

《参考》森林現況調査表

市町村	林小班	施業番号	樹種	面積	林齢	傾　斜	緊 急 度 合 ②			判　定
						①	ア	イ	ウ	
	123－い	００１ －０１	ザツ	0.50	40	a	a	a	a	A